

大阪・千里 優勝めざし56チームが熱戦

朝日旗争奪少年野球大会が開幕

第37回朝日旗争奪千里ニュータウン少年野球大会（主催・吹田東部少年野球連盟、後援・朝日新聞社、朝日新聞千里販売、日刊スポーツ新聞社他）が4月29日、大阪府吹田市の方博少年野球場で開幕しました。吹田市、豊中市、箕面市、茨木市、

高槻市、島本町の小学4～6年生でつくる56チーム、約850人が参加し、トーナメント方式で栄冠をめざします。

開幕式では、前回優勝の山田西リトルウルフAを先頭に入場行進。紺野義雄・吹田東部少年野球連盟会長らのあいさつの

後、山田西リトルウルフAの主将・村崎晴道くんが「大会に出場できることを感謝し、野球ができる喜びをかみしめ、全力で戦い抜くことを誓います」と宣誓しました。

開幕戦の少年野球佐井寺クラブ対山手台サニーズは、佐井寺の熊谷亜咲くんが好投。序盤のリードを守り逃げ切るかと思われましたが、時間制限で最終回となった6回裏に山手台の西澤元希くんが左翼越え2塁打を放ち、2点を返し4対4の同点に追いつきました。

抽選により2回戦には佐井寺が進出することになりましたが、終盤に粘りを見せた山手台にも観客から大きな拍手が送られました。

決勝戦と閉会式は6月16日の予定です。



選手宣誓をする山田西リトルウルフAの村崎晴道くん



スローボールをうまくあやつる少年野球佐井寺クラブの熊谷亜咲くん



山手台サニーズも終盤に意地を見せました

高架下グラウンドで豪快練習

南吹田少年野球倶楽部の16人

サンドバッグや古タイヤを打つ



④ランニングする5年生以下 ⑤下級生の手本となる6年生の4人。右端は山野済市総監督

自動車専用道路の高架下。時おりクラクションが響く細長いグラウンドで、南吹田少年野球倶楽部の16人は元気に白球を追いかけています。

「ここはどんな天気でも平気な秘密の練習場。新聞に書いたらあかん」と笑うのは、山野済市総監督（67）です。

かつて長崎県の平戸で金属バットでサンドバッグを打ちこみ、重さ5キ

グを打ちこみ、重さ5キ

ロの木づちをトラックの古タイヤに打ちおろします。

「総監督、しんどー！」木づちを手に思わず音を上げた子どもへ「もちをつくつもりで！背筋に力がつく！」と手本を示します。すると子どもたちは、一転してリズムに乗ります。山野済市監督の口ぐせは「人間、目標を決めたら変われる」。

そんな教えを必死に守る主将の北山信吾くん（6年）は「今は、無理やり大きな声を出さないと下級生がついてこないけど、力を合わせていつか新チームの初勝利を喜び合いたい」と力強く話しました。

参加56チーム

【高槻地区】高槻フェニックス少年野球団、リトルジャイアンツ、高槻野田ファイターズ、牧田フレンド、奥坂オールスターズ、高槻H&M、高槻メッツ、キングジュニアーズ、レッドバッファローズ、寿栄ジャイアンツ、竹の内ファイターズ

【茨木地区】春日イーグルス、春日ロジャース、春日丘ボアーズ、葦原南、ローレルス、茨木ドリームズ、山手台サニーズ、茨木フレンズ少年団、西河原ボーイズ

【豊中地区】庄内ゼッツ野球クラブ、千里ツインズ、豊中ペガサス、野畑ブレーブス、熊野田少年野球部、旭丘サンバーズ、南桜塚少年野球部

【吹田西部連盟】豊津東少年野球クラブ、千三少年野球クラブ、吹田ニューヤング、南吹田少年野球倶楽部、岸部つくしクラブ、吹田TN

【箕面地区】西南少年野球団エンデバース、箕面モンキーズ、箕面ジュニアーズ

【島本地区】島本ブレーブス、島本ジャイアンツ、島本スカイヤーズ、島本ヤンキース

【吹田東部連盟】吹田クーブス、片山南少年野球部、千里丘レッズ、藤白台少年野球部、山田スパークス、少年野球佐井寺クラブ、山田スワローズ、古江台少年野球部、佐竹台ストロングアロー、山田西リトルウルフA、山田西リトルウルフB、山田西リトルウルフC、南千里ジャガーズ、桜井谷少年野球部、千里丘イーグルス、津雲台少年野球クラブ